

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 丸山 剛	
環境-24	実施事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	環境保全課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	海浜の環境保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	海浜の保全と活用を図るため。
効果	樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜と環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・海浜保全と安全な活用を図るため、県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市と広域連携してサーフ90ライフセービング支援業務を行った。

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営 資源状 況	決算値(千円)	299	407	当初予算(千円)	465	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	299	407	一般財源	465	
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0	
	人 件 費(千円)	7,631	7,614	人 件 費(千円)	7,729	
事業 経費運 営	総事業費(千円)	7,930	8,021	総事業費(千円)	8,194	
	市民1人当りの 経費(円)	45	45	市民1人当りの 経費(円)	46	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー ライフセービングクラブ
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☒ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		県や関連市と協議を行い、海浜の保全、安全な活用にかかる事業を進めていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	近年はマリンスポーツ等への関心は高く、マナーなどの情報の共有のニーズは大きいものと考えられる。海浜の保全と安全な活用を図るため、県や関係機関、団体と連携して、利用者のマナー向上等の情報発信を行い、効率的な運用が図られるよう検討。協議していく。	

